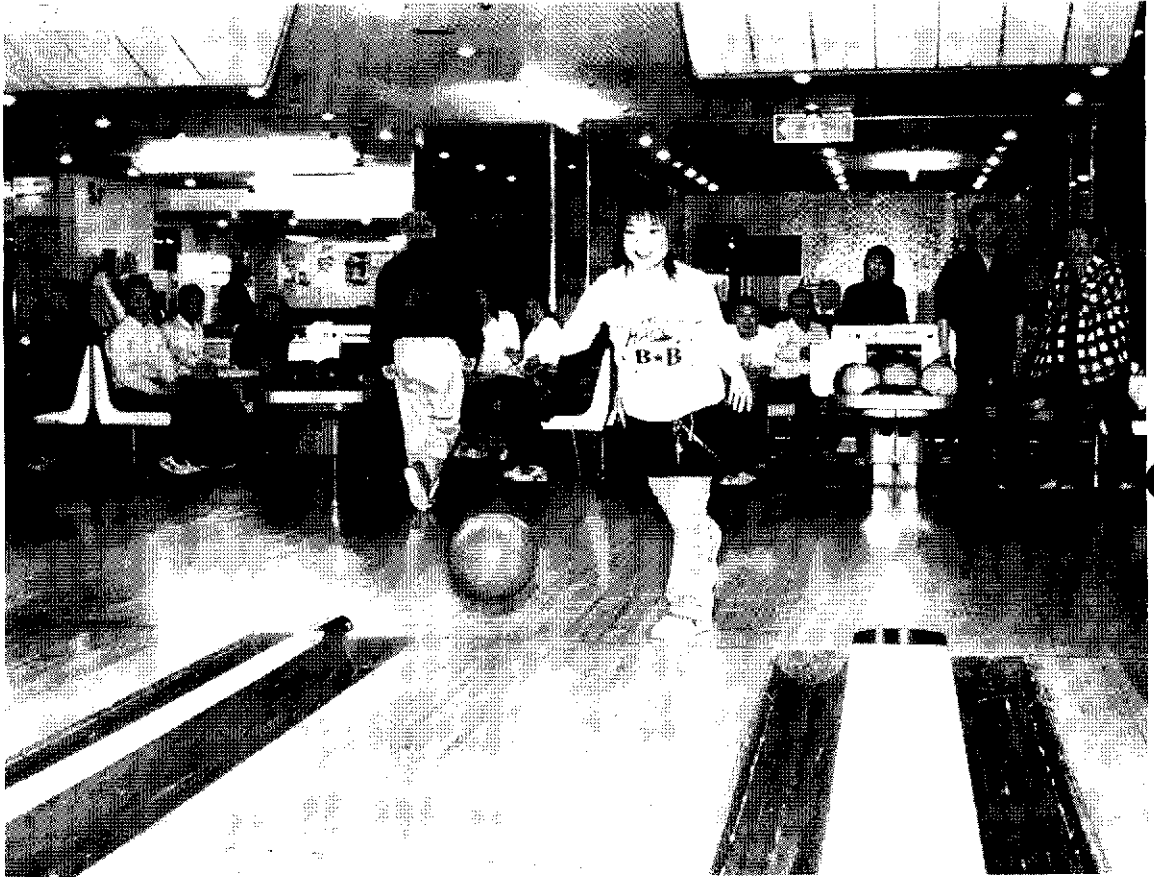


生きる仲間

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可
H・S・K通巻384号
◎発行日 平成16年3月10日
(毎月10日発行)
◎発行責任者 鈴木 啓三
◎編集 札幌腎臓病患者友の会
札幌市北区北17条西2丁目21番6号
サザンアベニュー北大301
◎発行所 北海道身体障害者団体
定期刊行物協会

マル障改悪に反対の声を!

春の親睦ボウリング大会



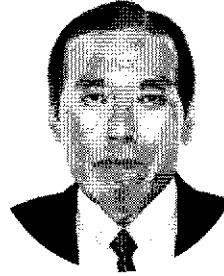
親睦ボウリング大会より

撮影 佐藤 功

札幌腎臓病患者友の会

医療・福祉制度を守るために

札幌腎臓病患者友の会 会長 鈴木啓三



この冬の札幌は暖冬で降雪量も少なかったようですが、会員の皆様はお元気に闘病生活を送られていることと思いません。

昨年は、冷夏で稲作の出来も悪いところに、台風の高地方直撃や地震の被害など、自然災害が多くありました。被災者並びにその関係者には心よりお見舞い申し上げます。

札幌腎友会では、今年度も五月の定期総会に始まり、私

たちの活動の原点である国会

請願署名募金運動に取り組み、九月には滝野すずらん公園にての炊事遠足、また腎臓提供者拡大街頭キャンペーン、今年の一二月にはボウリング大会を実施しました。資金

造成活動として正月飾り販売を、昨年に続き独自に取り組み、機関紙『生きる仲間』も三回発行して、当初計画された活動は、会員の皆様のご協力と役員の皆様の努力により、滞りなく実施されたことに感謝し、お礼を申し上げます。また、来年度は結成三〇周年になりますので、記念誌の作成や記念事業を企画していきますので、皆様のご協力を

よろしくお願い申し上げます。

す。

私は、昭和四五年五月に岩見沢市立総合病院で血液透析を始め、今年五月で満三四年になります。

当時血液透析は人工腎臓といわれていまして、一回八時間も掛かり、週間に二回しか入れませんでした。

医療保険は、昭和四二年、

二月から血液透析に適用されていきましたので、社会保険本人は無料でしたが、その家族は五割の自己負担、国民健康保険では本人・家族とも二割の自己負担で、大学卒の初任給が四万円〜五万円の時に、一月に一〇万円〜二〇万円くらい、「金の切れ目が生命の切れ目」と言われるほど、

医療費自己負担のある治療法でした。

また、透析機器も全国で六〇〇台位と少なく、腎不全の患者は年間五千人以上いましたので、透析導入には優先順位があり、社会に必要な順番に導入されていました。例えば社会保険本人で妻や子供がいる男性が一番優先され、老人や女性や子供はほとんど透析に入れずに、透析患者のほとんどが働いている成人男性でした。

しかし、農家や自営業のご



2・15 親睦ボウリング大会(青木ポウル)



9・28 腎提供者拡大街頭キャンペーン(大通り西3丁目)

主人などは、国民健康保険で三割の医療費自己負担があり、生活保護や医療保護を受けるのには、土地や財産をすべて処分して、それが無くなってからということで、血液透析の医療費を自己負担すると、土地や財産が無くなり、家族に多大な迷惑がかかるので、血液透析をすれば助かるのが分かっていながら、あきらめて亡くなっていった人もたくさんいました。

また、専業主婦が血液透析に入らなければならなくなった場合も、医療費の三割から五割を自己負担できないため、書類上で離婚をして生活保護や医療保護を受けて、別居生活をしているうちに本当に離婚されてしまった人など、悲劇的な実例がたくさんありました。

このような状況を救ってほしいと昭和四十六年六月全国の



9・7 炊事遠足(滝野すずらん公園)

腎臓病患者が集まり、全国腎臓病患者連絡協議会(全腎協)を結成し、医療・福祉関係者や国会議員などに援助していただきながら、厚生省や大蔵省・厚生大臣などへの要請、国会請願などの運動の結果、透析患者は昭和四七年一月より身体障害者福祉法の内部障害の対象になり、更生医療適用により透析医療費の自己負担はほとんど無くなりました。

それ以来私たち透析患者は、全腎協の活動はもちろ

ん、医療・福祉関係者などの方々のご支援・ご協力により、大変恵まれた闘病生活をしていると思います。

しかし、国は少子高齢化などのための財源不足により、現在の医療・福祉制度を維持することは困難だとして、年々切り下げており、一昨年四月の診療報酬改定では、透析中の食事が保険適用外とされ、私たち患者に自己負担が出てきました。さらに、北海道では今年十月からマル障制度に、割の医療費自己負担が導入されそうです。

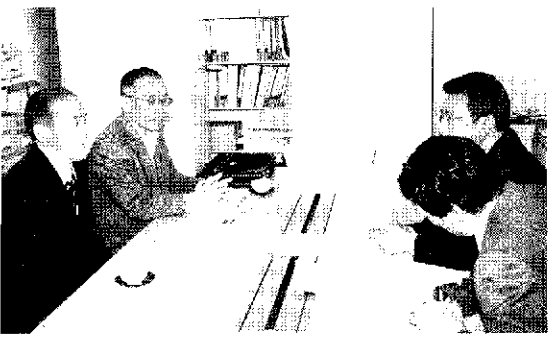
今、私たちは自分のためだけでなく、今後不幸にして透析導入する人たちが、三〇数年前のように医療費や生活の心配をしないで済むように、医療・福祉制度を守る活動を、一人ひとりの問題として認識して、会員一丸となつてすすめていきたいと思います。

マル障の見直し(自己負担導入)に 反対の声を!

マル障制度見直し反対

今回の北海道のマル障制度見直し案は、私たち透析患者にとって重大な問題で、大変な危機といえます。

平成七年一月から入院給食費一部自己負担、平成十三年十月からマル障制度に所得制



医療助成課で要望書を提出する鈴木・柳沼の両氏

限導入、平成十四年四月から通院透析食が自己負担となりました。

こうして、私たちの医療・福祉制度は負への道をたどり、取り崩されて来ています。

今回の見直し案がそのまま道議会で通過した場合、透析患者の半数の方が、カ月・万円を一生払い続けなければならぬことが予測されます。

この様な見直しは、とうてい受け入れられるものではありません。

現在までの反対活動は、道腎協が主体となり知事への要望書提出、道議会各会派への要望及び紹介議員への要請をしました。

皆様にご協力いただいた請願署名(全道五、七三八名)

は、紹介議員(三、名)にて三月十日に道議会で提出されました。

また、皆様にはハガキで知事宛に直接、自分の声を届けて頂くようお願いしてあります。

会員一人ひとりの行動が試されています。

札幌市長への要望書提出
札幌腎友会でも、二月五日に札幌市保健福祉局保健福祉部の医療助成課へ、鈴木会長と柳沼事務局長・佐藤編集長の三人で、札幌市長宛のマル障制度見直し撤回の要望書を提出いたしました。

医療助成課では池野課長と

花田係長に対応していただきました。

昭和四十八年十月にマル障制度が導入されて以来、「命の綱」となって透析患者を救ってくれていることや、週三回の透析を一回四、五時間、生続けなければ生きられないことなどから説明をしました。

この度の道のマル障見直し案によると、住民税課税世帯がマル障で一割負担ということ、患者が被扶養者の場合は、かなりの割合が住民税課税世帯と思われ、患者本人が世帯主で住民税を支払っている人と合わせると、全体の約半数がマル障で一割の医療費自己負担をすることになります。

そして高齢化や長期透析による合併症と、糖尿病性腎症による透析導入者が増えており、医療への依存は高まる。

札幌第1508号
平成16年2月5日

札幌市長

上田 文雄 様

札幌腎臓病患者友の会
会長 鈴木 啓
札幌市北区北17条西2丁目21番617-3
電話 011-707-6789

「重度心身障害者医療給付事業」見直しへの反対要望

貴職におかれましては、平素より当患者会に格段のご配慮を賜り、深く感謝申し上げます。

私たちは本市在住の透析患者を中心とした腎臓病患者の団体です。

人工透析療法は現在も欠かせない治療で、1回に4～5時間、週3回実施されます。又、CAPD(腹膜透析)療法は自分で出来る治療ですが、毎日数回行い、どちらかを選び必ず行わなければ生きられないのが現実です。

私たち透析患者は、この様にきびしい透析を一生続けなければなりません。病気を良く知り、食事管理などで体調を整え続けることで、長生きも十分可能となってきていますが、その一方で透析患者の高齢化も進み、合併症に苦しみ、循環器や骨関節障害、血管障害、透析アミロイドーシス等により歩行困難に陥る患者や、糖尿病性腎症による網膜剥離や血管障害、神経障害等で介護が必要になったり、入院を繰り返すようになっていきます。

札幌市における透析患者数は、平成14年度末では約4,200人、そのうち有職者の割合が25%程を示しています。

夜間や日中の透析を続けながら、就労している患者も合併症と闘いながら頑張っていますが、年収250万円以下に集中していることが分っています。

道市町村民税を納めている患者にとって、医療費の一部自己負担は考える以上に厳しく、特に入院になり収入が途絶える様な場合を考えると、とても今回の「重度心身障害者医療給付事業」の見直しについては、受け入れ難く取り消していただくよう強く要望致します。

要望事項

平成16年10月からの「重度心身障害者医療給付事業」適用者への医療費一部の自己負担は撤回して下さい。

方で、合併症による通院や入院の機会が増えていて、合併症で入院をすることで、職を失う場合も数多くあります。透析中の食事負担や、通院困難による多額の交通費がかかる事に重ねて、今回の見直しが実施されると、通院で一万二千円を、入院では月額四

万二千円の請求がくる事になり、マル障が無かった時代のように、肉体的にも精神的にも追いつめられ、ゆとりを失い、夫婦離婚なども起こりかねない、非常に苦しい立場に追いやられることが考えられることなどを説明しました。

「現時点で制度見直しは、道としての提案の段階で、どの様に決定されるか、分からない状況で、今後の動向を見極め、よく検討を行い、六月の定例議会に向けて、市としての案を決めていきます。しかし、透析患者の厳しい状況は、今回の話し合いを通

じ理解できましたので、皆様
の立場に配慮したものにしたい」との回答をいただいております。
なお、札幌近郊市町村にも幹事及び会員の方に、在住者代表になっていただき要望書を提出しております。

道議会での審議が気になる所ですが、今後の動向をみて、各市町村への対応を考え活動して行きたいと思えます。
今後とも会員皆様の一層のご

協力をお願い申し上げます。

近郊市町村在住担当者

石狩市 坂川 勝良
北広島市 梅田 明
恵庭市 飯坂 知子
当別町 川村 勇
南幌町 政氏 久寿
由仁町 作田 昇
厚田村 多田 守明

「重度心身障害者医療給付事業」見直しに反対する道議会請願署名結果報告

2月26日現在

施設名	署名数	施設名	署名数
石川泌尿器科	90	手稲ネフロクリニック	60
稲積公園駅前クリニック	118	ていね泌尿器科	40
いのけ医院	20	中野医院	40
H・N・メディック	43	新井田医院	20
N T T東日本札幌病院	40	東苗穂病院	10
小笠原クリニック札幌病院附属外来プラザ	10	広田医院	12
兼古循環器クリニック	10	福住泌尿器科クリニック	10
清田泌尿器科	20	保坂内科クリニック	5
勤医協中央病院	130	星野泌尿器科	30
クボタ泌尿器科クリニック	4	北光記念病院	14
光星泌尿器科医院	25	マロニエ通りクリニック	14
札幌北クリニック	110	萬田記念病院	20
札幌厚生病院	14	南条病院	80
札幌セントラルクリニック	24	宮の森記念病院	30
札幌中央病院	5	元町泌尿器科	7
札幌東クリニック	50	もなみクリニック	10
札幌北榆病院	100	山本医院	10
佐藤医院	30	ゆうあいクリニック	10
三樹会病院	20	40条クリニック	7
J R 札幌鉄道病院	9	渡井医院	39
市立札幌病院	10	石狩病院	18
仁愛会外科クリニック	18	H・N・メディック北広島	20
仁榆会病院	190	田園通りさわぎき医院	20
澄腎クリニック	50	恵み野病院	8
桑園中央病院	30	恵庭クリニック	10
田島クリニック	60	個人会員	176
手稲溪仁会病院	16	合計	1,966

ご協力ありがとうございました。(募金活動はおこなっておりません)

自民党	道民会議	公明党	民主党道民連合	日本共産党
井野厚	加藤礼一	清水誠一	横山信一	大橋晃
日下太朗	和野敬友	小野寺秀	稲津久	日高令子
池本柳次	佐々木隆博	北準一	佐藤英道	真下紀子
北準一	金岩武吉	井上真澄	横山信一	花岡ユリ子
井野厚	井上真澄	岡田憲明	蝦名清悦	
	久保雅司	山本雅紀	滝口信喜	
	織田展嘉	大河昭彦	岡田篤	
	大橋晃	林大記	西出昭紘	
	高橋由紀雄	沖田龍児	田村龍治	

今回の道議会請願行動に於て、会員及び非会員に係わらずご紹介いただいた各会派の道議会議員で、次の方々が紹介議員になつてくださいました。ご協力ありがとうございました。(敬称略・順不同)

正月飾り販売結果報告

(平成15年度)

施設名	販売売上額	還元金
稲積公園駅前クリニック	41,390	8,278
小等原クリニック外来プラザ	7,280	1,456
清田泌尿器科	3,400	680
光星泌尿器科医院	25,490	5,098
札幌北クリニック	92,470	18,494
澄腎クリニック	4,450	890
手稲ネフロクリニック	19,030	3,806
ていね泌尿器科医院	32,070	6,414
中野医院	12,640	2,528
福住泌尿器科クリニック	4,900	980
早野泌尿器科	44,740	8,948
南条病院	30,090	6,018
宮の森記念病院	13,700	2,740
山本医院	12,130	2,426
石狩病院	20,500	4,100
H・N・メディック・北広島院	3,700	740
サン内科外科病院	11,360	2,272
個人会員 (5名)	13,640	2,728
合計	392,980	78,596

皆様のご協力ありがとうございました。
※札幌腎友会の販売益は一〇六九七八円です

有料道路障害者割引制度の改正

平成十五年一月一日より、有料道路における障害者割引制度が改正されましたので、その概要をお知らせいたします。

(1) 割引証を廃止し、手帳(新たに手続きを行った)を提示する事で割引適用となります。

※旧制度(割引証と手帳)での通行は、一六年五月三十一日までとなりますので、新規に手続きを行う必要があります。

(手続き) 市・区役所の福祉係に、①身障者手帳 ②自動車検査証 ③運転免許証(障害者本人が運転する場合のみ)

④今までの割引証(返納する事になります)を持参し、割引の対象であると認められた場合に、手帳に割引対象自動車ナンバー、割引有効期限等を記載してもらいます。

(2) ETCを利用する場合も同様に、①手帳 ②車検証 ③

運転免許証 ④割引証 ⑤E

TCカード ⑥自動車に取り付けられた車載器の「ETC車載器セットアップ申込書・証明書」を持参し、障害者割引適用のためのETC利用申請をする事になります。(ETCカード、車載器は事前に用意する事になります)

※割引が認められた場合は証明証が発行されますので、その際に渡される所定の封筒に切手を貼付のうえ、有料道路事業者が設置する窓口に郵送します。後日、割引の適用が開始される日が通知されます。

(3) その他、障害者割引の対象者及び自動車は現行と同様です。

※車種要件等により、法人所有車両、レンタカー、タクシー、軽トラック及び代車等は登録できません。詳細は市・区役所福祉係にお問合せ下さい。

親睦ポウリング大会



さる二月二十五日(日)、午前十一時から、アオキポウルで札幌腎臓病患者友の会の平成十五年度ポウリング大会が行なわれた。

参加者は札幌KクリニックやH泌尿器科、I泌尿器科から大勢参加いただいたほか、七施設から患者男性二三名、女性一五名とスタッフなどが加わり総勢五六名で個人戦(二ゲーム)を競った。

日ごろからポウリングに熱を入れておられる施設は、やはり素晴らしい成績を上げたが初めて参加した施設もあつて和気あいあいのうちにゲームを楽しんだ。

II泌尿器科では院長ご夫妻をはじめスタッフ、患者と医院総ぐるみで参加され、雰囲気は大いに盛り上げてくれた。

参加者の中には二〇年ぶりにポウルを握った人もいて、

成績は上がらずガーターに相当悩まされたようだ。

とかく運動不足になりがちな生活だけに、年に一度のポウリング大会とはいえ、参加者全員は実力を日いっぱい発揮してゲームにのぞんでいた。

昨年度に比べると参加者は若干少なかったが、それを感じさせないほど、各人の熱気が大会を、層活気あるものにしてくれた。



実行委員のみなさん

試合終了後、席を代えて、

昼食をとりながら、表彰式を行なった。お陰で怪我人もなく大会は盛会裡に終わった。

(報告 実行委員 吉澤 廣
(渡井医院)

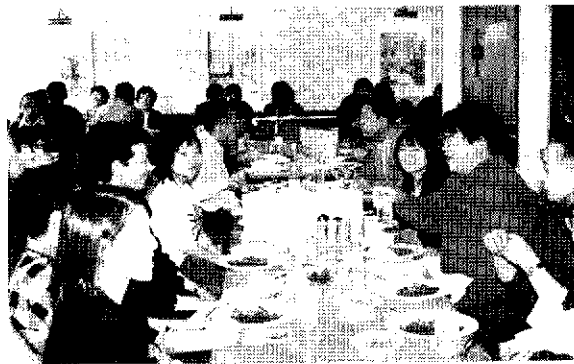
※受賞者は次の通りです。

(敬称略)

健常者には、一ゲーム一〇ピンのハンディがあります。

《女性の部》ニゲーム合計

- 優勝 木村 通子 34ピン
(札幌北クリニック)
- 準優勝 三沢 祥子 34ピン
(いのけ医院)
- 三位 中岡 佳子 28ピン
(札幌北クリニック)
- 四位 藤田 安代
(札幌北クリニック)
- 五位 高橋 幹子
(札幌北クリニック)
- 七位 成田 幸子
(札幌北クリニック)
- 十位 山崎 美樹
(星野泌尿器科)



左から2位伊藤さん、優勝杉本さん、3位蔵野さん

左から2位三沢さん、優勝木村さん、3位中岡さん

《男性の部》ニゲーム合計

- 十五位 原田 孝子 (澄腎クリニック)
- ブリービー賞 佐藤 盈子 (石川泌尿器科)

- 優勝 杉本 和昌 36ピン (ほまなほ外科医院)
- 準優勝 伊藤 邦夫 36ピン (石川泌尿器科)
- 三位 蔵野 龍也 30ピン (星野泌尿器科)
- 四位 木村 弘 (札幌北クリニック)
- 五位 柳沼 正一 (手稲ネフロクリニック)
- 七位 長谷部和雄 (札幌北クリニック)
- 十位 青木 友幸 (星野泌尿器科)
- 十五位 中村 順一 (仁愛会外科クリニック)
- ブリービー賞 古澤 廣 (渡井医院)

国会請願署名・募金結果報告

「腎疾患総合対策の早期確立を要望する」全腎協と「総合的難病対策の早期確立を要望する」JPCの国会請願署名・募金にご協力ありがとうございました。

平成15年度 国会請願署名・募金結果報告

2月1日現在

施設名	全 腎 協				J P C			
	署 名		募 金		署 名		募 金	
	14年度	15年度	14年度	15年度	14年度	15年度	14年度	15年度
石川泌尿器科	367	388	4,000	11,000	357	236	2,000	3,000
稲積公園駅前クリニック	375	351	47,400	24,000	355	366	8,000	3,000
いのけ医院	249	120	7,500	2,000	249	130	2,000	1,000
H・N・メディック	631	322	27,100	11,200	631	306	4,300	5,000
N T T 東日本札幌病院	484	351	21,000	23,400	464	300	2,300	2,000
小笠原クリニック札幌病院	16	—	1,000	—	10	—	1,000	—
小等原クリニック附属外来プラザ	36	40	3,000	1,616	40	40	1,000	1,000
兼占循環器クリニック	160	130	12,500	2,000	160	130	500	0
清田泌尿器科	124	90	9,260	4,000	121	90	1,000	0
勤医協中央病院	580	673	27,000	25,000	326	470	3,000	1,200
クボタ泌尿器科クリニック	40	41	6,500	3,000	40	40	0	2,500
光星泌尿器科医院	139	350	5,000	5,000	110	140	0	0
幌南病院	80	0	3,000	0	70	0	8,000	0
札幌北クリニック	981	1,041	75,539	100,000	850	893	2,942	1,899
札幌厚生病院	116	165	20,000	0	108	163	0	0
札幌セントラルクリニック	196	189	5,000	2,800	196	189	0	1,220
札幌中央病院	20	50	4,570	1,000	20	50	2,504	0
札幌東クリニック	1,060	991	38,311	46,573	1,060	971	9,700	11,000
札幌北楡病院	882	955	51,500	39,600	900	924	4,500	7,000
佐藤医院	45	141	4,300	16,585	41	143	0	3,000
三樹会病院	240	390	3,000	2,500	240	390	0	500
J R 札幌鉄道病院	231	280	6,000	6,350	231	280	2,000	1,150
自衛隊札幌病院	22	43	0	3,000	22	19	0	0

施設名	全 腎 協				J P C			
	署 名		募 金		署 名		募 金	
	14年度	15年度	14年度	15年度	14年度	15年度	14年度	15年度
市立札幌病院	213	230	18,500	31,000	201	230	3,500	6,300
仁愛会外科クリニック	121	166	5,500	13,000	111	166	5,500	0
新札幌循環器病院	42	76	23,000	8,000	42	75	0	6,000
仁 檜 会 病 院	570	672	25,700	23,400	530	640	0	700
澄腎クリニック	654	790	32,500	37,100	610	760	4,100	1,100
桑園中央病院	250	191	11,700	5,000	230	181	5,000	2,000
田島クリニック	530	560	16,315	12,900	520	560	1,300	3,100
手稲溪仁会病院	70	140	2,000	1,000	70	140	1,000	0
手稲ネフロクリニック	200	620	8,000	26,364	200	596	5,000	2,000
ていね泌尿器科	400	610	21,200	25,900	380	580	14,700	2,400
中野医院	191	201	17,000	6,500	170	181	1,000	500
新井田医院	360	390	16,900	32,700	360	390	5,900	3,000
広田医院	42	90	6,400	5,000	39	90	0	0
星野泌尿器科	—	230	—	2,000	—	230	—	0
北光記念病院	80	120	13,000	15,000	80	120	0	2,000
マロニエ通りクリニック	75	100	7,000	5,000	75	100	0	1,000
萬田記念病院	75	70	3,900	4,600	86	77	2,400	0
南一条病院	1,170	851	94,400	69,150	1,100	790	0	0
宮の森記念病院	501	799	8,000	10,000	241	281	2,000	0
元町泌尿器科	30	60	0	0	28	64	0	0
山本医院	22	0	0	0	31	0	4,000	0
ゆうあいクリニック	—	80	—	1,500	—	70	—	500
40条クリニック	20	30	3,000	2,000	20	20	0	0
渡井医院	282	323	17,000	29,900	284	299	1,800	8,700
石狩病院	85	175	20,300	21,700	86	172	2,000	11,200
H・N・メディック北広島	309	350	26,500	16,000	329	356	4,000	7,000
田園通りさわぎ医院	246	246	14,000	18,100	246	246	0	0
はまなす外科医院	46	37	3,000	5,000	46	37	3,000	0
恵庭クリニック	52	67	0	0	48	67	0	0
個人会員	89	115	16,800	15,323	97	114	1,700	4,307
その他	15	—	0	—	0	—	0	—
合計	13,814	15,490	814,095	773,761	12,861	13,902	122,646	106,276

札幌腎友会配分金（全腎協募金50%）386,880円、JPC配分金なし
今年度の全腎協国会請願は3月25日に行われる予定です

勤医協中央病院「元氣会」

25周年記念パーティー開催

去る、平成一五年一二月七日、ホテル札幌サンプラザにおいて勤医協中央病院腎臓病友の会二五周年記念パーティーを開催しました。

雪の降る朝、出足を心配するも二五名の参加を得、司会中村喜公氏により、今は亡き会員の皆様に黙とうを捧げたのち会は進められました。

現会長の木谷憲男氏の挨拶に続き、澤崎孝可先生を始めとする来賓の方々により、患者会発足当時から現在にいたる歴史と、透析治療に携わる熱い想いを祝辞と共に述べられ二五年の重みを感じる次第でした。次に歴代会長への感謝状と記念品贈呈。乾杯。笑顔で祝宴余興へと進みゲーム・カラオケなど楽しみながら

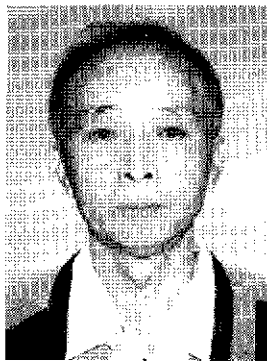
色とりどりの料理を味わい、気が付けば幹事最高齢の青木久保氏の力強い唱和で無事閉会と成りました。

最後に、病院関係者の方々のご協力に感謝申し上げ、今後も患者会の更なる発展と会員一同の御健勝を念じて報告と致します。(北田 三恵子)



投稿

我家のペット



坂川 勝良

(石持病院)

我が家に息子と娘がいま
す。と言つてもペットの猫ちゃんです。オス、メス一匹ずつです。オスの名前はシルキーと申します。メスはミヤンコと言います。オスのシルキーは二〇年前からいます。この猫は埼玉県、福島県、北海道と渡り歩いてきました。此のペットにしてみれば身勝手な手で、我が儘な主人だと思つた事でしょう。私の仕事の関係でこの様な事になりほんとうに迷惑掛けました。でもペットのお陰で随分と癒されまし

た。二〇年も飼うとまるで息子と娘が、一緒に暮らしている様なものです。ここまで長生きするとは最初は思つていませんでした。そして、私達が一番悩んだ事は持家で無い事です。その都度人家さんに内緒で飼う事が大変でした。廻りの人や隣の人に、ペットを飼っている事がわからない様に、そつと飼っていました。今も同じです。二〇年の猫ちゃんも昨年の秋頃から週二回程病院通いをしています。家族の一員として暮らして居ります。初めは私が仕事に出掛ける時は玄関まで来てニヤンニヤンと鳴き、帰つて来た時は車の音で分かるのかニヤンニヤンと玄関まで来て鳴きます。ここまで来るととても

投稿

私の好きな言葉

吉田 セイ

(田島クリニック)

猫とは思えません。可愛い、可愛い。本当の息子と娘と居る様に思います。たかがベツトと思う人には理解できない事でしょう。生きている内は、いつまでも一緒に家族同様に暮らしていこうと思つています。そして、私もベツト

に負けないように長生きしたいと思います。我が家のベツトは色々な町に連れ廻されて、まったく迷惑な事と思つているでしょう。津軽海峡を渡つて北海道にまで来て、今尚、頑張つて居る猫ちゃんこれから長生きしてね！

私が腎臓が悪くなり、何の予備知識もなく平成九年、二月透析導入に至り、即入院した時はショックのあまり言葉もでませんでした。

なく自分に負けそうになった事がありました。そんな時いつも主人が生への心の支えでした。

気が付いた時はICUのベツトの上であり、左手を見るとシヤントの手術のあとだけが残つて、ただむなしさだけが心に焼きついた様でした。毎度の透析の折、血圧の低下、めまい、頭痛など次から次へと休中をおそい、幾度と

最初の頃は、周りの人になかなか思う様に話しをする事が出来ませんでした。今では少しずつですが、透析に慣れてくるにつれて、院長先生を始め、スタッフの人とも話ができる様になりました。常に透析によつて命を助けてもらいありがたく感じている昨今

です。今でも先生や技師さん、看護師さんに迷惑をかけるに心配をかけておりますが、これからは、少しでも心配されない様に努力しようと思つています。そうして透析により助けてもらった命を無駄にしない様に、毎日明るく生きていきたいと思つと同時に、私の生への転機となつたのは、大好きな詩の一章節です。幾度なく読書しているうちにはつとさせられました。自分の胸に手を当て、今の自分と比較しておりました。尚、詩の内容は次のとおりです。

しているうちに
結局何もやらなかつた
空しい人生の幕が降りて
頭の上にさびしい墓標が建つ
そのうちに、そのうちに日が
一段と暮れる
今来たこの道、二度と帰れない
という一節である
私にとつて、もうやり直しのきかない、時間の大切さ、一日一日悔のない様に、目標に向つて、ひたむきに精一杯がんばろうと思つこの頃です。
人は皆、それぞれ生き方が、違ふけれども、私は常に、前向きにひたむきに、残された余生を過ごして行ければ良いと思つています。
私もやがて七〇代に入ろうとする今日、しみじみと自分の歩んだ事をよく考える様になりました。
これからは私達透析の仲間

投稿

金・銀を送り出した駅

吉澤 廣

(渡井医院)



と常に仲良く、なんでも気楽に話し合える様になんばって行きたいと思えます。最後に

私が手の神経障害のため主人に代筆してもらいました。

備は会社から一人と地元警察官が駅まで同乗するだけだった。会社からの警備員には「地金護送手当」という手当が支給された。私も何回かこの手当をもらった。

のんびりした警備だった。が、盗難などの事故に遭ったことは、度もない。

大雪でトラックが使えない

ときは、馬櫓を仕立てて運んだ。人間は片道三〇キロをスキーを履いて随行する。私はこの経験はしなかった。

栄枯盛衰は世の習いだが、K鉱山は鉱石の品位が下がって、三〇年前に閉山してしまっ

た。開山から閉山まで五〇余年間に、電気金で七・トン、電

気銀を一、二〇〇トン近く出した。「東洋一の金山」として名を広めたが、佐渡金山には金の量で一トンおよばな

かった。

K鉱山は大正の中ごろ、当時の山師たちから九〇万円で購入したヤマである。山師たちを大阪に呼び、一流割烹に併請にし三日三晩の供応で、ほかの鉱山会社からのアタックをハネのけて手に入れたのである。

いまでこそ、金一グラムの値段は一、四〇〇、五〇〇円と安くなったが、私が勤めていたころは、一グラム三、〇〇〇円近くしていた。一トンの値段が三〇億円になっていたのである。

会社の屋台骨を支える鉱山でもあった。丸瀬布駅は裏方として、会社の発展に大いに寄与してくれた。

K鉱山をしのぶものは、いまは無くなったが、毎年夏、OB会を開いて、ともに汗を流した仲間たちが往時を懐かしがっている。

昭和一九年の春、私は社会人になり赴任地へ向かった。

いまのように交通は速くなく不便であった。札幌駅から夜行列車に揺られ、翌早晩に

最寄り駅に到着したが、連絡バスの関係で駅近くの旅館に仮眠した。

その駅は、石北本線の丸瀬布という鄙びた駅で、町の特産は木材である。

そのため週に一、二回、地金を丸瀬布駅まで運び、貨車に積み込んで四国へ送った。

地金一枚(八キロ)が五〇万円、毎回二〇〇枚ほどの出荷。約一億円を出していた。

特に厳しい警備体制はとっておらず、荒縄で縛った地金をトラックに積んで、警

ホット
ポイント



愛燦燦

片桐俊子

(清田泌尿器科)

像できるからだ。

花に太陽の恵みが必要なように、人には燦燦と降り注ぐ愛が不可欠である。武器を愛に持ちかえて、それぞれに違う物差しを見つめ直せば、そこには戦いではなく、人と人の和が生まれ得るだろう。

人は憎みあうためではなく、愛し信じあうために生まれてきた。父と母が愛しい私もこの世に生を受けた。両親の愛に育まれてきたから、病気であっても、不幸せと感じたことは一度もない。

生まれてきたことに、生きていられることに、そして、たくさんの出会いに感謝して、「人生って不思議なものですね 人生ってうれしいものですね」この歌詞の深さと重さをかみしめる毎日である。

ある歌番組に小椋佳さんが出られて、「人生は出会いによって綾なされていますね」と感慨深げにおっしゃった。その少し前、胃ガンを手術され、術後の経過も良く、その時のすぐれた医師との出会いでさらにその思いを強くしたようだ。

小椋さんの息子は一四歳で脳梗塞になり、高校進学もあきらめざるをえなかった。今三〇歳をすぎ、弦楽器の一つ琵琶を作り、その普及に努めている。小椋さんも一〇年前から琵琶の演奏を始め、そこに親と子の心の交流が感じられる。

スポットライトを浴び輝

いている芸能人であっても、影の部分はあるものと知った。光れば光るほど影は濃く、影があるから光はさらに輝く。光と影は常に表裏一体、どんな人にもついてまわる。

そう思って耳を傾けると、その日の「愛燦燦」はひとしお胸にしみた。

今の世相に目をやると、人と人が憎みあい、傷つけあう陰惨な事件のなんと多いことか。さらに戦争も現実のものとなり、いかなる大義名分をつけたとしても、それはただの殺りくにすぎない。復興、国際貢献という隠れ蓑のもと、日本も片

棒をかつぐことになり、残念でならない。

壊れた建物や橋や道路は作り直せば元に戻る。しかし、失われた命はふたたび息を吹き返すことはない。親を亡くした子供たちの悲しい叫び声が聞こえてくる気がする。

我が家の日あたりの良いベランダはさながら南の国の楽園のよう、鉢植えの花が今を盛りに咲いている。

母はその花々をいとおしそうに面倒みている。私はそんな母の姿を見ているのがたまらなく好きだ。きつと幼い日、私もこんなふうにいとおしんでもらったと想



たえ子先生の

料理手帳

—その六—

札幌北クリニックス
栄養科々長
管理栄養士

佐藤 妙子 先生

休日の昼食に、手軽にできる丼物（中華丼セツト）はいかががでしょうか。

中華丼

◆材料

ごはん 200g
豚肉 60g
帆立貝柱(生) 20g
いりか 10g
人参 5g

◆調味料

油 大さじ1/2
塩 小さじ1/2
中華味 小さじ1
片栗粉 適量
水 適量
玉ねぎ 30g
白たけのこ 10g
白菜 30g
きくらげ 少々

◆作り方

豚肉は一口大に、帆立貝柱はたてに三、四枚にスライス。いかは二、三センチの短冊、人参も短冊切りにする。玉ねぎは半分は半分に切ってスライスし、白菜は二、四センチのそぎ切りにします。たけのこはうすくスライスし、きくらげは水でもどしておきます。

◆栄養成分

エネルギー 676kcal
たんぱく質 20.4g
カリウム 515mg
カルシウム 34mg
リン 260mg
塩分 1.5g

中華鍋に油を入れ低めの温度で豚肉をほぐし炒め、火の通りにくい野菜から順に加え、調味料を入れて、火が通ったら水溶き片栗粉でとろみをつけて下さい。丼にごはんを盛り、具をかけます。好みて紅生姜を添えてもよいでしょう。

胡麻酢あえ

◆材料

鶏ささ身 10g
きゅうり 30g

◆調味料

酢 小さじ1
正油 小さじ1/2
砂糖 少々
ごま油 少々

◆作り方

鶏ささ身はゆっくり煮立てないよう茹で、熱いうちに細くさいておく。きゅうりはせん切りにします。調味料を合わせて冷やして、食べる直前にかけてみましょう。

◆栄養成分

エネルギー 42kcal
たんぱく質 3.2g
カリウム 127mg
カルシウム 9mg
リン 31mg
塩分 0.3g

杏仁豆腐(四人分)

◆材料(四人分)

粉寒天 1/2袋
水 220g
牛乳 80g
さとう 80g
アゼンドトッレス 少々

◆みつ

水 10cc
さとう 50g
アゼンドトッレス 少々
缶みかん? 3切

◆作り方

鍋に水と粉寒天を入れてよく混ぜながら火にかけて三、四分煮立てて、火から外して牛乳を加え、熱いうちに器に入れて、常温になったら冷蔵庫で冷やしておきます。別の鍋に水とさとうを合わせて火にかけて、みつを作ります。さとうがとけたら冷やしてエッセンスを入れます。寒天の上に缶詰のみかんをのせ、みつをかけてできあがりです。

◆栄養成分

エネルギー 56kcal
たんぱく質 0.7g
カリウム 45mg
カルシウム 9mg
リン 19mg

今・あなたの声の結集を！

～あなたの参加で強固な腎友会を～

5・16 札幌腎友会第29回定期総会

※詳細は後日お知らせ致します。

第27回道腎協定期総会

- ・5月30日(日)AM10:00～AM12:00
- ・ホテルユニオン 南3条西12丁目
- ・総会終了後 PM1:00より医療講演会を予定しております。

幹事新年会

一月一八日(日)正午より毎年

恒例の札幌腎友会幹事新年会がホテル札幌会館において開催されました。数日前の大雪で道路状況の悪い中、役員・幹事総勢二三名が集まり会費三、五〇〇円(自己負担)で賑やかに開催されました。

柳沼事務局長の司会進行で宴がはじまり、まずは鈴木会長より、「マル障の一割負担など保険制度の状況はますます厳しくなりますが頑張りましょう」と挨拶がありました。続いて川村運営委員によるシャンパンでの乾杯で会食が始まりました。今年のお料理は和食のコースで、次々に出されるメニューと会話をみんな楽しんでました。

喉もなめらかになったところでカラオケの始まりです。始めの内はリクエストもなかなか出てこなかったのが大野

幹事の一曲をきっかけに、みなさんおおいに歌って盛り上がりました。

次に柳沼事務局長による常識クイズゲーム大会が行われました。テーブル毎4チームに分かれてのグループ対抗で行ない大接戦になり、最後はじゃんけんで優勝・準優勝を決定しました。

新年の楽しいひとときを過ぎて、菅本副会長の挨拶で閉会となり記念写真を撮り解散となりました。

(報告 吉田季代乃)

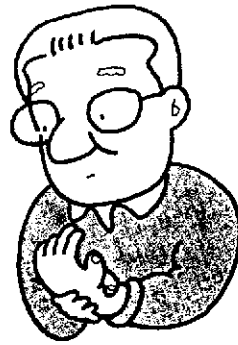


一、糖尿病の透析

糖尿病の透析は、個々の病態によって異なりますが、糖尿病透析患者の増加とともに、透析方法が工夫され、治療開始後の経過も従来と比べて改善されるようになってきました。

透析導入

糖尿病透析患者では、透析開始の時期がその後の経過を決定することがあります。無理をしないで早めに透析を始めることが大切です。また、透析導入の前には、いろいろな症状が起こりますが、透析はこれらの症状の改善と予防にも効果をあげています。



透析導入の前の主な症状

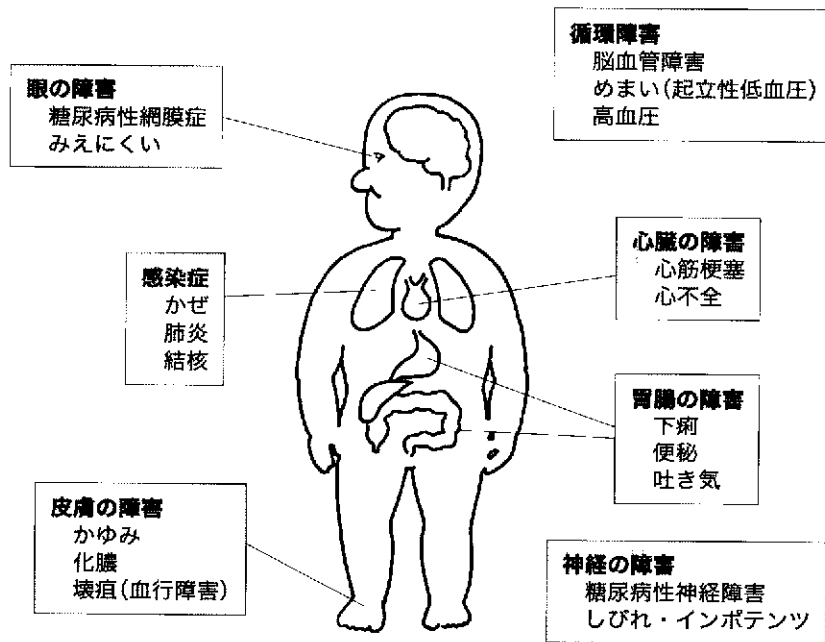
- 呼吸困難
- 全身のむくみ
- 吐き気・嘔吐
- 全身倦怠感(だるい)
- 意識障害

透析維持期

安定した透析の時期になると腎不全症状は軽減ないし消失します。しかし、他の透析

患者に比べると、透析中の低血糖・低血圧・吐き気・嘔吐などの頻度は高く、食事(血糖管理)と水分(体重)の管理が重要となります。また、シャントの閉塞を起すことも多く、シャント管

【透析維持期の糖尿病での合併症】



【計報】

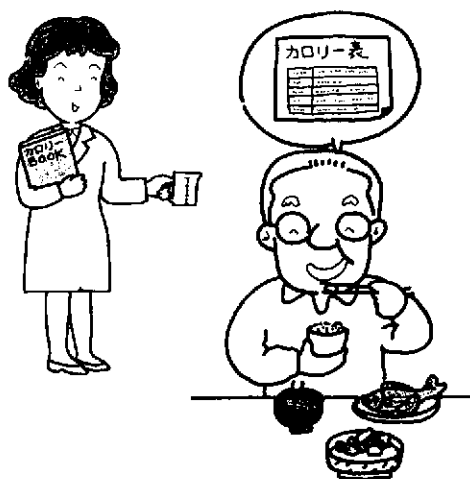
札幌腎友会の幹事としてまた平成十三年度より事務局次長として、会活動にご尽力を戴いておりました南一条病院の伊藤文夫氏が平成十五年九月二日に、また、新井田医院の幹事として長年ご活躍された南出陽雄氏が平成十六年一月二十九日に、澤崎医院でお手伝い戴いておりました清造弘文氏が一月二十日にご逝去されました。



故 南出 陽雄 氏 故 伊藤 文夫 氏

三、日常生活の留意点

糖尿病透析患者にとって、血糖をうまくコントロールすることが、快適な透析生活を送るために最も大切です。そのためには、医師との相談のもとに適切な食事、適度な運動などに留意することが必要です。



食事は指示カロリーを守る事が基本

透析導入後の食事療法では、カロリー、たんぱく質の極端な制限がなくなります。個人の体格と身長、運動量に見合う指示カロリーを守り、その上で糖質、たんぱく質、ビタミン、ミネラルをバランスよくとり、血糖をコントロールしましょう。

適度な運動を心がける

適切な運動は、体力や糖・脂質代謝の改善とともに、精神・心理状態を改善し快適な社会生活を送るために役立ちます。しかし、糖尿病透析患者では運動が禁忌になる場合も多く、医師の指導のもとに行うことが大切です。

ジョギングなどの動きのある運動よりも、ストレッチ体操などの静的なトレーニングを中心に行いましょう。

運動を控えるべき病態

- ① 心疾患、心不全のあるとき
- ② 体調の悪いとき
- ③ 高血圧、尿毒症、感染症などがある場合



（キッセイ薬品工業
「透析のはなし」参照）

〈事務局活動経過報告〉

- 昭和48年1月13日 第3種郵便物認可
- 10月2日 腎キャンペーン反省会
(事務所9名)
- 10月7日 第2回幹事会打合せ
(事務所11名)
- 10月19日 第2回幹事会
(札幌北区民センター32名)
- 10月23日 事務局打合せ (事務所6名)
- 10月28日 国会請願署名募金用紙発送
- 10月30日 お正月飾り案内発送
- 11月13日 “生きる仲間” No.66 発送
“ぜんじんきょう” No.200 発送
- 11月25日 事務局打合せ (事務所4名)
- 12月4日 『平成16年度4月からの診療報酬にたいしての要求行動について』 発送
会計監査 (横堀会計監査役)
- 12月11日 “どうじん” No.96 発送
- 12月25日 事務局打合せ (事務所4名)
- 1月8日 “ぜんじんきょう” No.201 発送
- 1月13日 “生きる仲間” 編集委員会
(事務所4名)
ボウリング実行委員会 (5名)
- 1月20日 ボウリング大会案内発送
- 1月27日 「マル障見直しに反対する」道議会請願署名用紙発送
- 2月4日 高橋はるみ知事へ要望書提出
- 2月5日 上田文雄市長へ要望書提出
- 2月6日 札幌近郊市町村への要望書提出依頼
- 2月10日 「マル障制度の所得制限でマル障がきかなくなった人の償還払いについての説明文書」 発送
- 2月12日 “生きる仲間” 臨時8号 発送
- 2月15日 ボウリング大会 (青木ボウル64名)
- 2月26日 事務局打合せ (事務所5名)

■事務局だより■

- ◎ハガキの寄付をいただきました。ありがとうございます。
佐藤医院 田中秀人様
- ◎ご寄付を頂戴しました。会活動に役立させていただきます。ありがとうございます。
- ・中野幸雄先生 (中野医院) 8,494円
 - ・上戸文彦先生 (光星泌尿器科医院) 10,000円
 - ・星野継二郎先生 (星野泌尿器科) 10,000円
 - ・五輪橋内科病院様 50,000円
 - ・故 山川信様 (中野医院) の奥様より 100,000円
 - ・故 住友奈美子様 (新札幌循環器病院) のご主人様より 100,000円
 - ・横堀信雄様 (稲積公園駅前クリニック) 2,000円
 - ・東中宏之様 (札幌北クリニック) 600円
- ◎青い鳥ハガキについて
平成16年5月上旬から下旬までの間に障害者手帳を持って、郵便局で手続きしますと1週間程度でハガキ20枚が無料で送付されますのでご利用下さい。
また、ハガキが必要でない方は、事務局にご寄付いただければ助かります。

編集後記

“財政再建”・“地方の自立”の名のもとに、補助金の削減と言う地方への丸投げ。困った地方は、歳出の大幅カットと言う痛みの強要、これまた国民への丸投げである。

そうした中に出てきたのが、今日のマル障の見直しである。今ここでこそ、私達の団結を強くし、反対の声を大きくなうねりとしなければならない。まさに組織の存在そのものが問われているのではないだろうか。(功)